

令和3年度愛媛県後期高齢者医療広域連合懇話会 <会議概要>

1. 日 時 令和4年2月3日(木) 14:00～15:45

2. 場 所 松山市民会館 第3会議室

3. 出席者

(1) 懇話会委員(50音順)

今村 旭 委員、小木曾 真司 委員、奥田 幾世 委員、
河野 保子 委員、高木 功 委員、田頭 和恵 委員、
田中 顕悟 委員、前島 慶一郎 委員
計8名

(2) 事務局

松木事務局長、高市事務局次長兼総務課長、越智事業課長、
石川総務企画係長、中本資格管理係長、竹内医療給付係長、
本郷保健事業係長、山内主事、赤瀬主事
計9名

4. 傍聴者 一般2名、報道1名

5. 議 題

- (1) 財政状況について
- (2) 保険料率の改定について
- (3) 保健事業について
- (4) その他

6. 質疑・意見交換等

(1) 財政状況について、(2) 保険料率の改定について

(委 員) 保険料率試算の表(資料 p14)で令和4・5年度の保険料抑制措置が「なし」というパターンの記載が併記されているが、この欄の記載の意味は何か。

(事務局) 保険料抑制措置が「なし」の欄については、基金も剰余金も投入しない場合の保険料率を参考に記載している。

令和4年度からは団塊の世代が後期高齢者になる一方で、それを支える現役世代は減少してくる。今回の改定では、今後に備えて

基金は投入せず、剰余金の40億円のみを上昇抑制に活用したい。

(委員) 愛媛県は一人当たり保険料が全国36位、所得係数0.73とあるが、所得係数と保険料の順位はどんな関係があるか。

(事務局) 所得係数が高ければ一人当たり保険料も比較的高いという関係になっている。

(委員) 剰余金は全て投入しないといけないのか。

(事務局) 厚生労働省からの指示で、保険料を算定する際は剰余金を全て投入することとなっている。

(委員) 今回の保険料率改定案については、将来に向けて後期高齢者医療制度を安定的に運営するために必要かつ適正な案ということで委員の意見をまとめてよいか(委員、異議なし)

(3) 保健事業について

(委員) 健康診査概要及び受診者数・受診率について、対象者は全ての75歳以上の方ということか。

(事務局) 長期入院中の方や、施設に入所している方は除外している。

(委員) 愛媛県の受診率は全国平均と比べて低いようだが、他県の成功事例等を収集しているか。日常的に医療機関にかかる高齢者は多いと思うので、医師等と連携して受診勧奨してはどうか。

(事務局) 他広域に照会するも、当広域連合として活用できる事例は収集できていない。

かかりつけ医が健康管理をしているため健診を受けていない例もある。受診率は低いですが、実際に健康管理をされている方はもっと多いと考えている。

(委員) 保健事業と介護予防の一体的実施について、令和3年度は「16市町に委託」とあるが、残りの4市町はどうしているのか。

健診受診や介護予防等の事業については、対象者の生活や健康状態を踏まえた棲み分け的アプローチをした方が、より効果が得られるのではないかと思う。

(事務局) 現在段階的に委託を進めている状況で、令和4年度は18市町、令和6年度までには全市町で取り組む予定。

棲み分け的アプローチについて、医療や介護サービス、健診を受けておらず健康状態が不明な方については、一人ひとり健康状態を確認し、健康であれば健康維持のためのフレイル予防や運動を紹介する等のアプローチをしている。また、逆に閉じこもり状態の方は、包括センターへつなぐような取り組みも行っている。

(委員) コロナ禍の状況においては、どのようなアプローチで受診や健診を勧めるかが悩ましい状況であるが、家の中での体操やフレイル予防、口を動かす運動や外でのストレッチを紹介するパンフレットを作成するのもよいのではないか。

(事務局) フレイル予防については、昨年度CMやパンフレットを作成して周知を図っている。

(委員) 後期高齢者の方ならびにそのご家族の方が、そういった情報により身近にアクセスできるような場面を作ることが非常に大事だと思う。

(委員) 健診受診者の高血圧割合について、愛媛県は高血圧の割合が高いと言われていると認識しているが、重症化予防として取り組んでいることはあるか。

(事務局) II度、III度の方を抽出し、個別で保健指導を実施している市町がある。

(委員) 高血圧者割合について、四国中央市、上島町、松野町、鬼北町が突出しているが、何が原因か。

(事務局) このデータは健診時の値で、普段の数値と若干異なる場合もある。ずっと割合が高いのか、この年だけ高いのかは現状ではわかりかねるので、今後市町の保健師と協力しながら住民の健康状態を見つつ傾向を見出していきたいと考えている。

(委員) 私が属している組織のデータで言うと、東予は高血圧、南予は高脂血症の方の割合が高い傾向にある。地域の食文化等が影響している可能性も考えられる。

(4) その他

(委員) ジェネリック医薬品について、現在回収や製造停止により供給量が不足しており、希望通りに提供できない状態。十分に説明したうえで先発の医薬品や代替の医薬品を提案することもあるため、ご承知おきいただきたい。

(委員) 令和2年度の事業概要について、高額療養費の他法併用分の件数・金額が前年度と比較して大幅に増加しているのは、新型コロナウイルスの治療費等の影響があるのか。

(事務局) 新型コロナウイルスの影響というのは現状では明確になっていない。ただし、受診控えの中で必要な医療を集中的に実施したために高額になった可能性はある。

- (委員) 令和4年度版後期高齢者医療制度のパンフレットの発行時期はいつ頃か。また、どこで入手できるのか。
- (事務局) 現在作成中で、今年度中には完成する見込み。市町の後期高齢者医療担当課の窓口等で配布している。

以 上